

胃腸風邪等の感染症の流行状況について

スクールメール等でお伝えしました通り、現在愛里保育園では胃腸風邪と思われる下痢・嘔吐・腹痛・発熱の症状での欠席児・早退児が増加しています。また、子どもの看病を行うご家族の方の中にも、胃腸風邪の症状がみられる方が増えてきています。

胃腸風邪の症状がみられる場合は、症状が軽くても必ず医療機関を受診し、医師の診断を受けてください。また、家庭内における二次感染予防を防ぐために、下痢や嘔吐の症状が見られた場合は下記のような対応をお願いします。



下痢の対処

1 便の状態を観察する

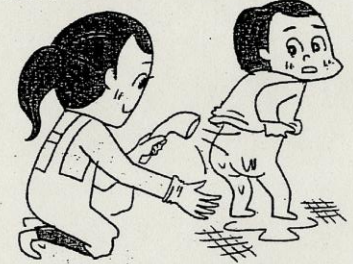
保育者は、マスクや感染予防グローブを装着。下痢がいつからか、回数、便の色、においはどうかなど、便の状態を記録しておき、保護者や医師に伝えましょう。



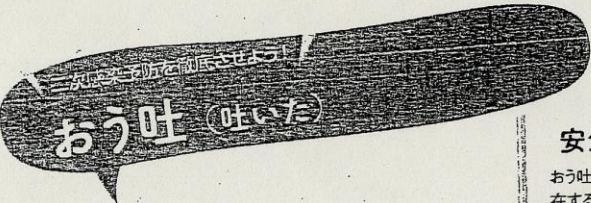
POINT
おむつ、おしりふきを、二重のビニール袋に素早く入れて密閉する。

2 お尻を洗って清潔にする

お尻がただれたら、小まめにおむつを交換するとともに、シャワーで洗い流すのがむずかしい場合は、医療機関と相談して、お尻の痛みをケアしてあげましょう。



POINT
洗った後は、しっかりふき取ってからパンツやおむつをはく。



ココが大切!

安全におう吐物を処理しよう!

おう吐物には、感染症の原因となる、ウイルスが存在することも。二次感染を防ぐために、安全に処理しましょう。

必要な 感染予防グローブ、エプロン、マスク (それぞれ使い捨て)、新聞紙、バケツ、消毒液、ぞうきん、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム

1 おう吐物をふく

感染予防グローブ、エプロン、マスクを身につける (すべて使い捨て)。おう吐物を、新聞紙でおおって、中央に集めるようにふきとり、ビニール袋につめこむ。



2 消毒をして換気する

次亜塩素酸ナトリウム20mlと水1Lを混ぜて消毒液をバケツで作る (50倍に薄める)。ぞうきんを消毒液につけて、その場をふいて、30分ほど人を室内に入れない。



POINT

おう吐物がついた服は、ビニールに密閉して保護者へ。洗濯のさいは塩素系漂白剤につけてから洗濯。

3 ビニールに密閉する

ふき取ったぞうきん、感染予防グローブ、エプロン、マスクはすべてを二重にしたビニールに入れて処分する。保育者は手をせっけんで洗い、うがいをする。



おう吐後の対処

1 口を洗い、着替える

おう吐物においては、吐き気をもよおすため、服が汚れていたら着替え、汚れた服はビニールに密閉する。口をゆすいで口の中やまわりをきれいに洗う。



2 水分補給をする

横向きにさせるなど安静にさせる。おう吐してから1時間は飲食物を与えない。落ち着いてきたら水分を補給する。



Column

水分補給し、消化のよい食事を

下痢になったら、脱水症状にならないように、少しずつ小まめに、経口補水液やスポーツドリンクを飲ませて水分補給する。下痢がおさまってきたら、おかゆや、やわらかく煮たうどんなど、消化のよいものを食べさせる。



ココが大切!

安全に下痢を処理しよう!

下痢には、感染症の原因となる、ウイルスが存在することもあるため、二次感染を防ぐため安全に処理しましょう。

必要な 感染予防グローブ、エプロン、マスク、おむつシート (それぞれ使い捨て)、バケツ、塩素系消毒剤、水、タオル、ビニール袋



1 下痢のおむつをかえる

下痢をしている子から、ほかの子をはなす。保育者は感染予防グローブ、エプロン、マスクをつけて、おむつシート (すべて使い捨て) の上で、子どものおむつをかえる。

POINT
おむつやおしりふきは、二重のビニールに入れて密閉する。

2 消毒し、ビニールに密閉する

塩素系消毒剤を20mlと水1Lを混ぜて消毒液をバケツで作る (50倍に薄める)。タオルでおむつを交換した台をふく。手をせっけんで洗い、うがいをする。



POINT
使ったものを二重のビニールに入れて処分する。